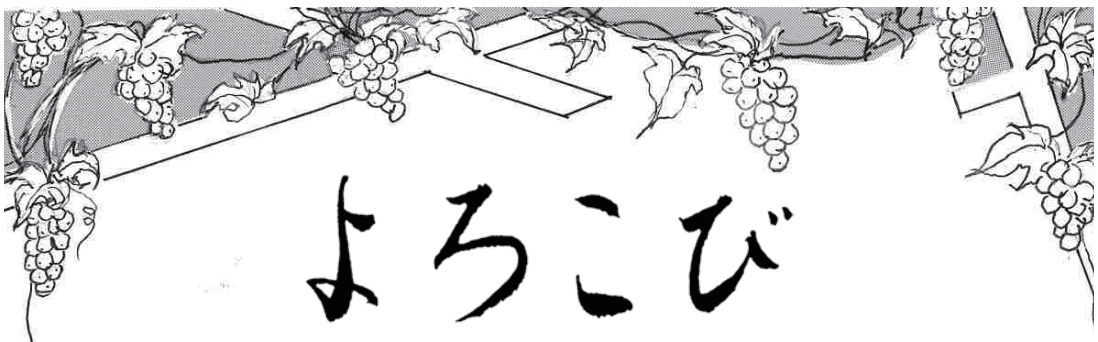




2022.6.20 第133号

年金局・「隠退教師を支える運動」通信



福島 義人 牧師

「一粒の麦」

北海教区 野幌教会牧師

福島 義人

三浦光世さんの短歌に「戸の隙より雪吹きこみて 掛布団の襟凍る 開拓の家に育ちき」があります。私には悲壮感よりは、懐かしく豊かな想い出が見えてくるのです。私が少年の頃に過ごした旭川豊岡教会の古い建物が同様でした。断熱材のない薄いモルタルの壁でしたが、楽しい思い出ばかりです。当時はどの家も同じだったと思います。

壁の隙間から雪が吹込むと、猫たちが蒲団を温めます。礼拝前の早朝の雪かき、石炭ストーブ着火等、家族で助け合い、教会員や近所との豊かな出会いと支えがありました。

大自然に鍛えられ磨かれた小さな教会の小さな信徒の小さな祈りから「隠退教師を支える運動」が広がるのです。

きっかけは、敗戦直後に教会で餓死された三上豊牧師の出来事でした。それを「一粒の麦」とし大切に抱き続けた信徒の祈りから生まれました。

当時の教会はメソヂストで、赴任地は監督の任命制です。三上牧師は、そこで一度

牧会された後に青山学院に戻り、再び旭川に戻され困難な戦時下の中で牧会をするのです。

敗戦直後の会堂は青年で溢れますが、牧師を支える経済的基盤はなく、天に召されて初めて牧師の健康や家庭状況を知るのです。教会史には、「初め師の訃報に驚いてかけつけた会員達も茫然としてその為す所を知らず、先に御婦人を天に送りその後お独りで凡ゆる困難の中に十字架を負いつつ任務を遂行された師を想う時取り返しのつかぬ事をした思いであった。私共は亡き師のために何をなすべきであらうか。之は今後の重要な課題であると思う」。その思

いを何十年と抱き続けられるのは、旭川の大自然の厳しさが優れた信仰の鍛錬となっていたからかもしれません。

やがてその祈りは、困難な地で家族共々懸命に牧会に当たる、多くの牧師の隠退後の生活状況を知るに至るのです。信徒として放置してよいのかとの祈りの課題となります。

三上豊牧師への「一粒の麦」の証として、「隠退教師を支える運動」が始まるのでした。それは北海教区総会の決議となり、教団総会の決議として全国的運動となりました。

40年前に私が神学校に行く時、その運動を担った牧田健夫兄、柴田滋郎兄など多くの信徒の方々が、喜んで私の背中を押してくださったことは今も懐かしい思い出です。

毎年開催される教区総会に、年金局の方が来られて報告とアピールする姿があります。

もう40年以上続けられてき

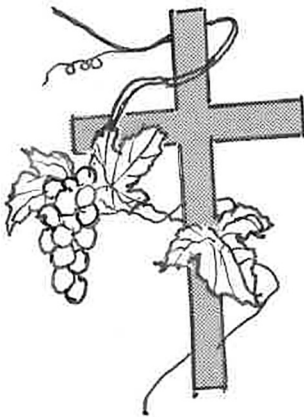
たでしょうか。議事をめぐり白熱する中で、年金局の方が誠実に訴えかける姿は、いつも議場に爽やかな風をもたらしていました。そのお働きを覚えて頭が下がりました。

私は毎週、往復三時間かけ特別養護老人ホーム「神愛園手稲」で過ごす両親に、会いに行きます。コロナの中で両親が穏やかに過ごせるのは、神愛園の献身的ケアと年金局の経済的なお支えの賜物です。

この時代、年金制度を維持するための関係者の大変なご苦労を思います。野幌教会には、長く年金局の働きを担った井上昌保さんがいました。今年1月に、脳血栓で突然天に召されました。大学や高校、教区や教団の様々な重責を担われ、晩年は週三回の透析を続けながら教会の奉仕を中心に、憲法九条を守る働きもされていました。透析の血管移植手術は7回を越え、時々いたずらっぽい目で、私に手術

跡を見せられるのには困りましたが、年金局や隠退教師を支える運動を担う喜びと感謝と誇りが、弱る体を支えていたのでしょうか。引き継がれる「一粒の麦」の希望と喜びがあります。年金局の尊いお働きを感謝して。

(ふくしま よしと)



「隠退教師を支える運動・1000円献金」

「隠退教師を支える運動」の

原点に想うこと

「隠退教師を支える運動」推進委員長

鈴木 秀信

2022年1月28日に開催されました第41総会期第7回推進委員会におきまして、池田浩二委員長から高齢のため退任したいとお申し出がありました。協議の結果、同年4月1日より委員長としての重責を担うこととなりました。後任の事務局長には、山田昌人推進委員が選任されました。

私がこの運動に参加させていただきましたのは、



鈴木 秀信 委員長

2007年4月からでした。その年の6月に開催された全教区推進協議会に初めて出席いたしました。協議会は隠退された先生方への感謝の想いで溢れ、この信徒運動をいかに諸教会・伝道所に広め、定着していくかという活発な意見交換がなされていたことを記憶しております。また、ご理解、ご協力くださったっている全国の信徒の方々の篤い想いをも知らされました。そのための活動として各教区推進員はそれぞれの教区において座談会開催、手紙その他の方法による理解、協力を呼びかけたこの運動を展開しておられたとのことでした。その後、事務局長の任につきましたのが2012年11月でした。委

員会の仕事を支えながら、この運動を推進してくださったっている推進委員、推進員の方々とじかに接し、そのお働きに感謝すると共に、この運動にご協力いただき尊い献金を捧げてくださる全国の信徒の篤い想いを受け止め、神様が支えてくださるこの運動にこれからも誠実に仕えていく思いを新たにされたことでした。

そのような経緯を辿って委員長に任につかせて頂きましたが、いくつかの課題に向き合っております。

第一に、神様の召命に従い伝道・牧会にその生涯をささげて隠退された教職方・ご遺族のための教団年金制度の財的強化と共に、全教師が教団年金制度に加入されることを願いつつも、様々な理由から加入されずに隠退された先生方とご遺族に対して、どのような感謝の表し方ができるのか課題となっています。その一つとして、2022年度よりクリスマス祝い金を1万

円増額することを決定しておりますが、今後も課題として受け止め続けてまいります。

第二の課題は、この運動を担ってくださる教会・伝道所の方々、推進委員、推進員の方々の高齢化に伴う運動の継承についてです。これは信徒運動自体の課題でありますと共に、年金制度、伝道体制を信徒として支える観点から、教会・伝道所そして牧師先生方のご理解、お支えによつてこの運動をお育ていただいたたく思っております。この関係の中で、健全な信徒運動が成長していくものと考えます。

信徒運動当初の原点に戻り、今一度、心新たに、主から私どもにご委託されたみ旨を祈り求めつつ、この運動に仕えてまいりたいと願っております。

(すずき ひでのぶ／船橋教会)

業 務 室 よ り

一年金を受けている方へ 年金給付のお知らせ

7月の定例給付のご案内をします。

送金内容 2022年度第1期分給付
(2022年4・5・6月分)

送金日 2022年7月8日(金)
期日に、ご指定の金融機関に入金されて
いない場合は、ご連絡ください。

次回送金 2022年10月7日(金)

連絡先・年金振込先の変更は、できる
限り早めに、書状、Fax、e-mailの何れ
かで、年金局までお知らせください。

☆ 2021年度年金局事業・決算報告がま
まりました。以下、概要を感謝をもって
ご報告いたします。2021年度は706名
の隠退教師・ご遺族の方(年度末現在)
に総額4億4436万円の年金を支給いた
しました。一方、掛金収入は3億2206
万円でその差1億2230万円は「謝恩日
献金」「隠退教師を支える運動・100円
献金」、資産運用益等で補われています。
「謝恩日献金」の総額は4100万円で984
教会から献げられました。また「隠退教
師を支える運動・100円献金」は6534
万円が914教会から献げられました。(詳
細は教団新報4971・72号の中ほどの年
金特集75号をご覧ください。)コロナ
禍が継続する状況で、活動が困難な全国
の教会・伝道所が祈りと宝を変わらずお
献げくださったことは、教団退職年金制度
の大きな支えです。資産運用益もコロ
ナ、ロシアのウクライナ侵攻と不安要素
が多い環境でしたが、目標額の164%、
5253万円を計上しました。「支える運動」

からの多額な繰入金、教区協力金、教
団からの繰入金、特別献金などにより、
2021年度の収支差額は4599万円を積立
金に繰り入れ、退職年金積立金は43億
9117万円となりました。(詳細は、秋に
発行されます教団新報・年金特集76号
に掲載いたします。)

☆この春に隠退され、教団年金受給者とな
られた教師の方は、現時点で21名、平
均年齢は83歳です。再隠退された方は
4名です。

☆現況届のご提出をありがとうございました。
一言書いてくださる近況や労いの言
葉に、職員一同励まされております。
昨年度より開始しました「緊急連絡先」
のご登録に、多くの方がご協力くださり
感謝です。ご入院や転居等で受給者のみ
なさまと連絡が取れない時のみの使用
で、名簿などへの記載はいたしません。
既に有効な手だてとなった事例が何件も
ございます。今後ともぜひ、よろしくお
願いいたします。登録先の変更はいつで
も受け付けておりますので、遠慮なくご
連絡ください。

☆コロナ禍で過ごす日々も3年目に入りま
した。最近の感染状況は減少傾向が見ら
れますが、これまでの経験からまだまだ
油断はできないようにも感じます。これ
から暑い夏を迎えます。感染予防に適し
たマスクの着用、十分な水分補給、適切
な温度管理を心掛けて、みなさまどうぞ
お元気で過ごしてください。

(村山めぐみ)

日本基督教団年金局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18

Tel: 03(3202)2080 / Fax: 03(3202)2081

mail:nenkin@uccj.org

「隠退教師を支える運動」推進委員会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18

Tel: 03(3232)8005 / Fax: 03(3202)2081

mail:sasae100@uccj.org